

高校再編に積極的な方々の意見	高校再編に慎重な方々の意見
<p>1 高校再編に対する基本的な考え方</p> <p>(1) 基本となる視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校再編について、地域活性化は二の次であり、あくまでも教育ということを考えて進めてもらいたい。</li> <li>・ 主役は子ども達であることを忘れてはならない。</li> <li>・ 高校再編は子どもファーストで考えていくべきで、高校生の教育環境をどのように整備、充実させていくのが基本だと思う。</li> <li>・ 主役は生徒たちであり、生徒の将来を見据えた環境を我々大人や保護者が提供する必要がある。</li> <li>・ 子ども達の良い教育環境を最優先に考えるべきで、再編は避けて通れないと認識している。</li> <li>・ 高校は地域の文化・歴史を作る場所ではあるが、それ以上に、高校生の未来を創るための場所であることが存在の意義である。</li> <li>・ 高校時代は、社会で自立した大人になるための準備期間であることから、切磋琢磨することが非常に重要であり、高校再編は進めるべきものである。</li> <li>・ 高校生には多様な経験や教育に触れてもらうことが大切であり、ある程度の規模を確保してあげることがすごく大切である。</li> <li>・ 高校時代に、多くの人と出会い、交流し、人間力を高めるためには、一定以上の学校規模が必要であり、高校再編は止むを得ない。</li> <li>・ 生徒数が激減しており、最低限の教育効果や部活動が確保できないという現実を考えれば、高校の統廃合は止むを得ない。</li> <li>・ 今後、生徒数が減少することは明確であり、教育の効率化ではなく教育の充実の観点から、一定の条件を満たさない高校については、統合を図ってもらいたい。</li> <li>・ 高校の教育環境を整え、県内企業の担い手やリーダーを育成するためには、一定の規模が必要であり、高校再編はやむを得ない。</li> <li>・ 部活動は人間形成等に大きな役割を果たしている。そこでは、多くの部員が切磋琢磨して、より高い目標を目指すことが大事であり、一定の学校規模が必要である。</li> <li>・ 県内の市町村では小中学校を統廃合しており、教育環境を整える必要性を考えると、高校だけ例外とするわけにはいかないのではないかと。</li> <li>・ 高校再編の必要性については、環境が変化する中で、教育の質を高め、今の時代にあった形に切り替えていくということが、一番の原点にある。</li> </ul>	<p>1 高校再編に対する基本的な考え方</p> <p>(1) 基本となる視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方創生には、各高校の活動が大きく貢献しており、現在の高校群が有する多様な機能をこれまでどおり果たすことを望んでいる。</li> <li>・ 井波高校が閉校し、住民からは、地域で高校が担っていた地域力がなくなったと聞き、高校と自治体の関係の深さを改めて実感した。</li> <li>・ 高校は地域のアイデンティティのひとつであり、町から高校がなくなることは、地域の子ども達、住民にとって大変不幸なことである。</li> </ul>

# 高校再編に関する論点整理

高校再編に積極的な方々の意見	高校再編に慎重な方々の意見
<p>(2) 地域活性化と高校</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 小学校、中学校とは違い、<u>県立高校は生徒の土着性がなく</u>①、1自治体1高校にこだわる必要はない。</li><li>・ 1つの市町に1校配置するより、高校時代にいろいろと経験を積ませることが、自分たちの子ども、地域の子どもたちにとって大事である。</li><li>・ 高校があるから、自動的に人口減少が抑制されるということではなく、地域活性化についての学びは、小中の9年間でフォローできる。</li><li>・ 高校再編は例外なく実施してもらいたい。それが子ども達のためになり、ひいては富山県のためになっていく。</li><li>・ 地方創生をきちんとやっていけるかどうかは、人づくりにかかっており、教育の質を上げることが地方創生にも通じると思う。</li></ul> <p>(3) 子ども達の選択肢</p>	<p>(2) 地域活性化と高校</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域の活性化が図られるような配慮が必要であり、「1市町1高校」を保持してもらいたい。</li><li>・ 各地域の中学生に、地元の高校で学び、地元で根付く機会を提供することも大切である。</li><li>・ 地域に進学の選択肢がないという状況は、子どもを生み育てる気持ちに歯止めをかけ、少子化に拍車をかける可能性がある。</li></ul> <p>(3) 子ども達の選択肢</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>大規模校と小規模校の双方を残し</u>②、多様な高校の中から、中学生自身が選択できるような整備、配置することが大切である。</li><li>・ 3学級以下の学校だけを再編していくと、大規模な進学校だけが残っていくようなアンバランスになるのではないか。</li><li>・ 県の考えでは、大規模な高校しか存続できず、高校再編ではなくて高校削減という結論ありきの考え方ではないか。</li><li>・ 3学級の学校に大規模校から1学級を移せば、県内にバランス良く4学級以上の学校が配置できる。</li></ul>

高校再編に積極的な方々の意見	高校再編に慎重な方々の意見
<p>2 小規模校の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>地理的に見た場合、富山県は、小規模校を残さなければ高校教育の機会を提供することができない地域が相対的に少ない。</u>③</li> <li>・ 中山間地の小規模校は、地元の生徒が通えなくなる可能性があり、配慮する必要はあるが、富山県では通学上の不利益は殆ど考えられない。</li> <li>・ <u>地方創生に高校が効果的に機能することが十分期待できる場合は、小規模校を残す選択があるが、例外中の例外に限るべきである。</u>④</li> <li>・ 各地域も、「こうあるべきだ、このようにして欲しい」ということばかりでなく、どのような協力・支援をし、汗を流すのかという観点も大事である。</li> <li>・ 小規模校を残しても質的に高校教育といえる教育の機会を提供したことにはならない。</li> <li>・ 高校教育の質を維持し、向上させるためには、一定の学校規模が必要であり、5学級以上の学校規模の方が質の維持向上が期待できる。</li> <li>・ 切磋琢磨が生まれ、いろいろな考え方をする生徒が在籍することが、多様な価値観を知るために大変大事で、1学年5学級が良いと思う。</li> <li>・ 第4次産業革命が進む中、ロボットやAIで出来ないコミュニケーション能力や理解力などを培うことが重要で、いろいろな人と会い、共同で何かをやる経験が必要である。</li> <li>・ また、文武両道が大切で、部活動にも挑戦し乗り越えていこうとする中でいろいろな力が醸成されることから、少なくとも5クラスは必要で、高校再編は進めていくべきである。</li> </ul> <p>3 高校の配置</p>	<p>2 小規模校の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少人数であっても、生徒同士が切磋琢磨する状況は当然あり、選択教科開設数は教育の質には関係ないので、全ての小規模校を統合することには疑問が残る。</li> <li>・ 一定の学校規模を確保すればよいという考え方が先行しているのではないかと懸念している。</li> <li>・ 3学級の基準がわかりにくい。小規模校の良さをしっかりと検証してもらいたい。</li> <li>・ 学校にとって致命傷になることは避けなければならないが、多少部活動に問題があったとしても、致命傷にならない限り小規模校でもかまわない。</li> <li>・ <u>小規模校を廃止するというのではなく、歴史の浅い大きな学校を減らしたほうが小規模校を救うことができる。</u>⑤</li> <li>・ 特色ある教育を提供している学校は、小規模であっても必要なのではないか。</li> <li>・ 高校再編については、対象となる学校規模の話だけが一人歩きしており、再編後の学校で提供する教育、環境の話も大事だと思う。</li> </ul> <p>3 高校の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校の配置については、公共交通機関を利用して高岡市に多くの学生が集まっているように、一定の通学可能な地理的状況の中で様々な選択ができることが重要である。</li> <li>・ 各地域の進学希望生徒数を細かく見て、通学可能な地域内に高校をバランス良く配置する観点から議論を進めてもらいたい。</li> <li>・ 中学生が高校を選ぶときは、学力のレベルや距離、特色などの観点から選択できる状況が望ましい。特に女子生徒にとっては、学校までの距離は大きな要因となる。</li> <li>・ 望ましい学校規模については、少子化を考えれば一定の理解ができるものの、学校の配置については十分議論されていないのではないか。</li> </ul>

高校再編に積極的な方々の意見	高校再編に慎重な方々の意見
<p>4 前期再編の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合後の滑川高校は、学校のイメージは格段に良くなっており、また、生徒同士が学科の枠を超えて切磋琢磨する機会が増えている。</li> <li>・前期高校再編では、同じ学年の人数が多いことで、学習面や部活動、人間関係において切磋琢磨する機会が増え、学校自体にも活気が出て良かった。</li> <li>・工業高校では多くの学科が併設され、自分の学ぶ学科以外の分野の理解が進むとともに、実習棟や設備が整備され、新技術への対応が可能になった。</li> </ul> <p>5 職業科に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり県である本県では、4地区に、ものづくりを支える工業科単独校が必要である。</li> <li>・工業系は何学級必要かや、ニーズが大きい学科をどこに作れば全県的に人を集めることができるのかなどの視点で再編を考えていくことが大事である。</li> <li>・工業高校のあり方については、ものづくり立県、富山県として、長期的な計画によって慎重に議論していただきたい。</li> <li>・県内企業の担い手育成の観点からは、<u>現在の工業系高校の学級規模を維持し、県内4地域に工業科単独校が必要である。</u>⑦</li> <li>・県内就職を増やし、人口減少への対応の観点から、職業科の学級数、定員について検討してもらいたい。</li> <li>・県内企業の担い手育成についても、時期から見たら高校が一番大事で、ある程度規模があって、設備なども含めた専門的な学校が必要である。</li> </ul>	<p>4 前期再編の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>前期の高校再編の総括</u>⑥が十分でない中、さらなる再編に動こうとすることは、由々しきものと感じている。</li> </ul> <p>5 職業科に対する意見</p>

高校再編に積極的な方々の意見	高校再編に慎重な方々の意見
<p>6 その他</p> <p>(1) 中高一貫校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育効果や部活動を確保するには、中高一貫校も選択肢になりうる。</li> <li>・中高一貫校という形での存続ということも十分検討する必要がある。</li> <li>・トップラインを押し上げていく教育が必要であり、中学受験を前提とした中高一貫校を検討いただきたい。</li> </ul> <p>(2) 再編の際に留意すべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の感情や意見を無視するのではなく、聞いた上で、「高校の向かうべき方向はこうだ」ということを強く訴え、例外なく実施してもらいたい。</li> <li>・高校がなくなることは、地域にとって大きなインパクトになることから、跡地利用については、子ども達が充実した活動ができる設備・施設を考えてもらいたい。</li> <li>・高校の再編統合が余儀なくされるということであれば、地域に対して十分配慮した上で実施しなくてはならない。</li> <li>・各学校にはそれぞれ、歴史、伝統、地域の思いもあり、再編にあたっては、市町村との十分な協議を念頭に置いて検討を進めてもらいたい。</li> </ul>	<p>6 その他</p> <p>(1) 中高一貫校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>中高一貫校については、多くの課題はあるが、大きな意義もあり⑧</u>、この選択肢も否定されるものではない。</li> </ul> <p>(2) 再編の際に留意すべきこと</p>